



# 親子でなにわ新発見!

おとなと子どもがともに楽しめる講座やイベント、施設を体験レポートします。

## 子どもだけではもったいない! …の巻

子どもだから、お芝居やクラシック音楽はまだ早い?

なんて思っている方におすすめします。

でかけてみたら…

子どももおとなも大満足の日が待っていました。

今回おじゃましたのは「大阪市立こども文化センター」です。この日は、「中国民族芸術雑技・川劇」という催しがありました。これは年間24日行われる「こども劇場」の催しの中のひとつです。「こども劇場」は、主に日頃ふれる機会の少ない演劇、音楽などの生の舞台芸術を鑑賞できます。今回の出演は、中国の芸術祭などで受賞歴のある人で編成された雑技団とあって定員400名余りの座席は超満員!司会の方からプログラムについての説明があるので期待もより大きくなります。最初の「獅子舞」は中国でも縁起物だということです。客席を回って、観客の頭を噛んでいくのですが、噛まれるとその一年は病気になる!とあって大騒ぎに!この日の演目は全部で9種類。壺まわしや一輪車の技には息を止めて見入ってしまいます。帽子を使ったジャグリングではみんな笑顔で拍手します。「チャイナバレエ」の美しい動きに魅了されて終了するまでの約一時間は退屈している暇は全くありませんでした。中には子どもたちが参加できるプログラムもあります。「明」「清」時代の皇帝と皇后の衣装を着るファッションショーでは美しい衣装にうっとり。帰りには出演者の方のお見送りがあり、思い出に記念写真撮影もできました。

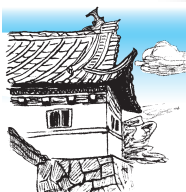
「こども劇場」は、「子どもがいるからあきらめよう」と思っている方にもぜひ行ってほしい催しです。生の舞台芸術がはじめてでも、わかりやすく説明してくれるイベントも多いので入門体験として行ってみてはどうでしょう。それぞれの分野でのプロが登場するので見ごたえは大人にも十分です。催しによっては舞台に参加できるチャンスがある!というのもいいですね。

ここは、「大阪市立中央図書館」となりにある施設です。ファミリー全員で出かければより楽しい時間が過ごせそうです。舞台装置がそろったホールでの舞台体験が将来、子どもたちの夢の種をまかかもしれない、なんて考えると楽しみも倍増しそうですね。催しは事前申込み制なので、まずはお気軽にお問合せを。 写真・文 梅木智子 ※催しについてはP16をご参照ください。



大阪市立こども文化センター <http://www.ko-bun.jp/>

場所 〒550-0014  
西区北堀江4-2-9  
電話 6531-5975  
FAX 6531-1679  
開館 9:00~21:30  
休館 毎週月曜(祝日の場合は翌日)、  
年末年始  
交通 地下鉄「西長堀」



## おおさか歴史探訪 ④

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

### 里程元標跡 -高麗橋東詰めは地方に開かれた大阪の玄関口-

秋も深まり、行楽には絶好の季節となりました。今回は少々聞きなれない言葉ですが里程元標跡について紹介します。

現在は旅行や出張には車や鉄道などの交通機関を利用することが多いと思いますが、かつては徒歩で街道を往来していました。その際、都市間の距離を計算するために、交通の要衝となる主要都市に里程元標が置かれました。わが国の中心である東京は日本橋にありました。大阪では明治9年に、西日本の主要街道の起点として、中央区高麗橋東詰めにつくられました。京街道、中国街道、亀岡街道、紀州街道、暗峠奈良街道など、大阪と地方を結ぶ街道のスタート地点として、この地はまさに大阪の玄関口であったのです。各地への道のりはここからの距離が計測され、京都の元標のある三条大橋まで13里12丁とか、東京の日本橋まで143里20丁というように使われました。ちなみに1里は約3.9km、1丁は約109mです。

大阪の橋は町人が費用を負担して架けた「町橋」がほとんどですが、高麗橋は幕府がつくった数少ない「公儀橋」のひとつとして重要な位置にありました。その西詰めにはお触書などを掲示する奉行所の制札場があり、大阪の賑わいの中心でした。大正年間までは西詰めの両側一對の櫓があり、景観的にも特徴がありました。大阪市の顕彰史跡として、現地には元標跡を示す石碑が立てられています。なお、現在の大阪の道路元標は、国道1号線と2号線の終起点にあたる梅田新道の交差点に設置されています。

(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

